

## はじめに

中小企業の DX 推進に関する調査によると、DXに期待する成果・効果は、「コストの削減、生産性の向上」が**38.6%**、「業務の自動化・効率化」が**38.8%**、「データに基づく意思決定」が**26.2%**と上位を占めている。

実際にDXを実施・検討中と回答した企業のうち、文書の電子化・ペーパーレス化に取り組んでいると回答した割合が57.6%と、**文書の電子化・ペーパーレス化が進んでいることがわかる。**

参考：「中小企業の DX 推進に関する調査(2024年)」  
独立行政法人 中小企業基盤整備機構より抜粋

### 目次

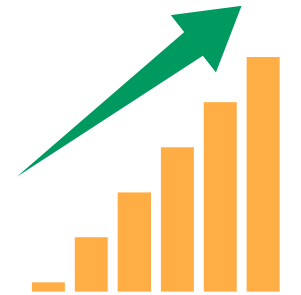
- 1 書類を電子化するメリット
- 2 導入事例



# 書類を電子化するメリット

## 1 業務の効率化

書類を電子化することで、データとして一元管理が可能になります。データとして管理することで**検索**や**共有**が安易にできるようになるため、書類の管理・検索・共有などに掛かっていた時間の削減を行うことができます。



## 2 コストの削減

**紙・封筒・インク代**、契約書であれば**収入印紙などのコスト**、郵送料金と比較して**安価な送信費用**への転換により削減することができます。



## 3 セキュリティ管理

データにすることで、バックアップを作成することができるため、災害などで現物を紛失した場合の**リスクを最小限**に抑えることができます。



## 導入事例

### □ 年間約400万円の収入印紙代削減

取引先		R社
業種		建設業
従業員数		100~150名

#### 課題

- ① 顧客との間で契約書の締結が必要であり、収入印紙代が年間で約400万円以上発生していた。
- ② 顧客との契約時に必要な書類をまとめる「製本作業」が1件あたり約30分以上発生していた。

#### 活用事例

契約を電子化したことで、**年間約400万円**の収入印紙代の削減を実現。  
電子契約が難しい場合のみ製本作業を行うため、製本作成にかかっていた時間も削減。

### □ 契約締結を電子化することで業務効率化

取引先		D社
業種		産業廃棄物業
従業員数		50名以上

#### 課題

- ① 契約の締結に約3週間かかっているため、本業である処理業務の開始までに時間がかかっている。
- ② キャビネットで契約書を管理していたため、契約書を探すのに時間がかかっている。

#### 活用事例

契約の締結が**最短1日**で完了するため、処理業務開始までのスピードUPを実現。  
電子化したことで、必要なデータを検索することができるので、**業務工数も大幅に改善**。